

令和5年度 第4回文京区地域福祉推進協議会保健部会 会議録

日時 令和6年1月18日（木）午後1時30分から午後2時39分まで

場所 文京シビックセンター24階第1委員会室

<会議次第>

I 開会

II 議題

(1) 保健医療計画の改定について

①中間のまとめに対するパブリックコメントについて

【資料第1号】

②保健医療計画最終案

【資料第2号】

(2) その他

III 閉会

<文京区地域福祉推進協議会保健部会員（名簿順）>

出席者（会場参加）

内海 裕美 部会員、土居 浩 部会員、橋本 初江 部会員、安田 剛一 部会員、渡辺 泰男 部会員、細谷 はるか 部会員、黒住 麻理子 部会員、白土 正介 部会員、出口 雅一 部会員、神馬 征峰 部会長、植村 元喜 部会員、西村 久子 部会員、

出席者（オンライン）

細部 高英 部会員、三羽 敏夫 部会員、新井 悟 部会員、柴藤 徳洋 部会員、戸井 雅和 部会員、松尾 裕子 部会員、川田 智之 部会員、小山 忍 部会員、山田 晴康 部会員

欠席者

太田 良明 部会員、諸留 和夫 部会員、谷川 武 部会員、松川 えりか 部会員、

<事務局>

出席者

矢内 保健衛生部長、熱田 生活衛生課長、田口 健康推進課長、小島 予防対策課長、
内宮 新型コロナウイルス感染症担当課長、大塚 保健サービスセンター所長

欠席者

なし

<傍聴者>

1名

I 開会

開会・部会員の出欠状況・配付資料確認・会長へ進行依頼。(議事省略)

II 議題 (1) 保健医療計画の改定について ①中間のまとめに対するパブリックコメントについて

熱田課長：①中間のまとめに対するパブリックコメントについて【資料第1号】の説明

(議事省略)

神馬部会長：事務局より今、報告がありました。これについて、何か質問等ありますでしょうか。ご発言の際は、ご所属とお名前もお願いいたします。

内海部会員：乳幼児突発死と書いてありますけど、正しくは、乳幼児突然死症候群ですので、訂正していただきたいのと、喫煙場所も、増設はいいですが、ほかに煙が漏れないような喫煙所をしっかりと作っていただきたい。礪川公園にあった喫煙所は、天井がなく公園にいる人が受動喫煙を受けるような喫煙場所だったので、受動喫煙がないような喫煙所を設置してほしいです。また、家庭内での喫煙は、もうこれは0%を目標でいいと思いますので、この区のお答えで頑張してほしいと思います。

II 議題 (1) 保健医療計画の改定について ②保健医療計画最終案

熱田課長：②保健医療計画最終案【資料第2号】の説明(議事省略)

柴藤部会員：ペットの話のところ、ふん尿被害について、特定の地区で困ってらっしゃるという話を聞いておまして、地域による差も大きく感じています。ただ、道端で排尿をさせた場合に、上からただ水をかけるというのはやめてほしい。動物行動学的にいうと、おうちの中で、まずはうんち、おしっこをして、狩りに行く。外に行って、おしっこするのは親分だけだということを、いつも申し上げているのですが、どうしてもする子は、マナーベルトしなさいと。おしっこをしないようにした状態でお散歩に行くようにと、常々申し上げています。もう少し突っ込んだ形で、施策を考えていただきたいです。

神馬部会長：ありがとうございます。何をなすべきかということだけではなくて、なすべきことを、いかになすべきかということが重要だというご指摘だったと思いますが、そういうことを行政の何らかのメディアを介して伝えることは可能でしょうか。

熱田課長：ペットに関する普及啓発については、これまでも様々、チラシの配布やホームページ等でやってまいりましたが、まだ十分に浸透していない部分もあるというところは認識しておりますので、今いただいたご意見もしっかりと踏まえてペットのマナー、普及啓発に一層力を入れていきたいと考えております。

土居部会員：DMFT 指数について、DMFT の M は、ミッシング、抜いてしまった歯も含まれていたものが、この変更案ですと抜けちゃった歯は虫歯じゃないと思う可能性もあります。ですから、DMFT という呼称は、非常に僕らは有効に使っているんで、ちょっとご一考いただきたい。

田口課長：表現については、もう少し検討いたします。

神馬部会長：DMFT 指数も併せて一時的に残すのか、あるいは、何らかの注をつけて、そこは除くのか、検討をお願いします。

小山部会員：虫歯のない子が増えているというのは、コロナを境に増えているのか、どのように分析されているのか教えてください。また、がん検診の受診率について、対象人口率ということですが、この割合は、医療保険の加入者 100%に対して文京区でこの検診を受けている人という認識でよいでしょうか。企業などで自分で受けた人も含め、文京区で対象年齢の方が、実際はどれぐらい受けていないかという数字が分かれば教えてください。28 ページの 2 番のがん検診の推移を見ていると、婦人科検診が、令和 2 年からすごく増えていますがこれも何か理由がありましたら教えてください。

土居部会員：むし歯のない子の増加にコロナの影響があるのかという話は私が知る限りでは聞いていません。一番は保護者の方のデンタル IQ が上がってきていることだと思います。

神馬部会長：受診率はいつも問題になりますが、%を示すだけでなく、その母数が何か明確に書かれていないと、どういう率なのかというのが見えにくいので、その点をご説明いただけますでしょうか。

田口課長：対象人口率というのは、国や東京都が、文京区民で健康保険や社会保険に入っている方の実数をそのまま反映させたものではなく、文京区でどれぐらいの方が区のがん検診の対象者かを推計し

た数値です。文京区民が、がん検診を受けたかどうかというのは、区のがん検診を受けた方については分かります。しかし、会社にお勤めの場合は、どなたがどの保険に入っているか、どのように受診されたかということは、一切把握できないので、この対象人口率を用いています。乳がん検診、子宮がん検診について、受診率が伸びてきたのは、対象者の方に受診券を発送することをきちんとシステムで管理できるようになったところが大きいと思います。

矢内部長：対象人口率について補足で説明させていただきます。対象人口率は、東京都が5年に1回、東京都全域で都民の方に調査をしていて、5つのがん検診について、それぞれ、職域でがん検診を受けた方、また、人間ドック等でがん検診を受けた方の割合を調査して、そういった方を全体の人口から除した数で、がん検診の受診率の母数を決定しているものでございます。大体5割を超える方が対象人口率になっていますが、乳がん検診等では対象者が多くなっているという傾向がございます。直近の東京都の対象人口率調査は、令和2年度に実施されたものでございますので、報告書等は東京都のホームページ等にも掲載されておりますので、参考までにご覧いただければと思います。

戸井部会員：今のことにつきまして、国が出していますね。がんセンターとか、あるいは日本対がん協会。乳がんの国全体の受診率、今47%という数字が一般的に出てきているのですが、その計算と、今の東京都の計算方法というのは同じと思ってよろしいでしょうか。

矢内部長：国が出している受診率については、がん検診を受けた方がどのぐらいいるかということ为国が調査をして受診率を出しているものでございます。東京都の対象人口率調査につきましては、区市町村が実施するがん検診の対象となる方、職域や、自ら人間ドック等でがん検診を受ける方を除いた方に対する受診率ということですので、全く同じものではございません。ただ、国及び東京都の経年の受診率については、ずっとこのやり方でやっておりますので、継続性があると考えてよろしいかと思います。

戸井部会員：そうしますと、国の場合は必ずしも自治体が行った調査を積み上げてつくっているわけではなく、別の調査としていますか。

矢内部長：行われているのは、調査による受診率で、国がまとめて出している区市町村のがん検診受診率というものは、また別に出しておりますので、ここが出している受診率と、国がまとめている、区市町村が実施するがん検診の受診率というのは、また違うものでございます。

神馬部会長：データの解釈の仕方ですが、科学的な研究において、パーセントを用いるときは、必ず母

数もはっきり書きなさいという指導をしています。今回は無理かもしれませんが、今後5年とか10年の計画を進めるときに何か、母数はこれだけであり、それに対して40%だとか、70%だとか、そのようにしていただくと、より数字の解釈が明確になってくるのではないのでしょうか。

西村部会員：私がこの最終案で一番感激したのは、地域共生社会の実現に向けて、様々な団体が地域福祉保健の推進のために、日々協力して、お互いがまとめていくというところです。私は最近足を悪くしたのですが、自ら足を悪くしたことをどこかに相談したわけではないのに、地域のアンケートに答えたところ、高齢者あんしん相談センターの担当者が飛んできてくれて、あっという間に足の悪い私に対して集中的にリハビリをしてくれました。体操のリハビリの先生が非常にお上手で体のコンディションを全部整えてくれて、見事に歩けるようになりました。この地域の連携と支え合いによる地域福祉の保健の推進の内容が実際に行われていると実感しました。

神馬部会長：私は今回の変更で11番の、前回調査と今回調査を系統的に比較するようになったことはとても良いと思います。過去の会議でも、そうしたほうが良いという意見がありました。内海部会員からも意見があったように記憶していますが、そういうことがよく反映されて素晴らしいです。あと17番で書式の書き方を変えたとありますが、この会議のほかに、子ども部会や障害者部会があり、前回、その親会の地域福祉推進協議会の際に記載の仕方が部会によってバラバラではないかという指摘があり、それで今回統一を図ろうとしたので、これもまた重要な改正点だったのではないのでしょうか。

黒住部会員：前回指摘した、食育の行動目標を数値化していただいたのも、よかったと思っております。

神馬部会長：部会員の皆様に積極的なご発言をいただき、どうもありがとうございました。ここからは事務局にお返しいたします。

Ⅲ 閉会

熱田課長：次回皆様にお集まりいただきますのは、第2回地域保健推進協議会になりまして、令和6年2月27日の火曜日、午後1時30分から5階の区民会議室Cでの開催を予定しております。それでは、以上をもちまして、本日の会議を閉会といたします。どうもありがとうございました。